



知事が行く!
突撃取材! Part2
～三重のひと～

第15回

～100年先も愛される鉄道へ～

地域の魅力を発信する アイデア列車

インタビュー詳細版

(お話いただいた方)

伊賀鉄道株式会社

代表取締役常務

えのもと まさし
榎本 方士さん

伊賀鉄道友の会

会長

いけざわ もとなお
池澤 素直さん

(聞き手)

三重県知事

鈴木 英敬



いけざわ もとなお 池澤 素直さん
えのもと まさし 榎本 方士さん

知事: 榎本さんにお伺いします。忍者列車やイベント列車など魅力いっぱいの伊賀鉄道ですが、多くの皆さんに長く親しまれるために大切にしていることは何ですか。

榎本: 鉄道会社は、お客様に安心してご乗車いただくことが大事です。今後も安全第一を基本に、地道に活動していきたいと考えています。そのうえで、伊賀線まつりをはじめ、地域の皆さんに「乗って楽しかった」と言われるようなイベントや、さまざまな企画を時代に合わせて創出していきたいと思っています。

知事: まさに松尾芭蕉^{まつお ばしょう}の不易流行^{ふえぎりゅうこう}ですね。安全の不易と時代に合わせた企画ですね。

榎本: 最近は海外のお客様も多くなってきましたので、分かりやすいご案内ができるように工夫していくことも考えています。

知事: 忍者列車など、海外の方の反響はいかがですか。

榎本: 非常に好評です。当初は、バスで来られる団体のお客様が多かったのですが、最近は個人や数人のグループで来られるお客様も増えており、非常にありがたいことです。

知事: 続いて池澤さんにお聞きします。ユニークなイベント列車などの企画を通じて、伊賀鉄道を盛り上げていただいておりますが、皆さんの活動の原点である思いを聞かせてください。



忍者列車を活用したアイデアは外国人観光客の方にも好評だと言います。

池澤：伊賀鉄道は地域にとって宝物です。宝物は、磨いて皆さんにお披露目できるようにしなければいけないと思うんです。私たちは、伊賀鉄道のためとか、市民のためとか、そういう思いで活動しているわけではなくて、自分たちが楽しみながら取り組んでいます。長い間、地域で走ってくれた伊賀鉄道を終わりににはさせたくない。そのために、みんなで利用してもらえるような楽しい鉄道にしたいと思います。



忍者列車（青）を見学

知事：『伊賀鉄道友の会』の皆さんの活動も10年になりますが、地域の中で変化してきたことや、これまでの活動を振り返っていかがですか。

池澤：当初は広報活動のためのお金もない状態でしたが、最近のイベント列車は申し込みを開始すると、すぐに満席です。イベント列車は、乗車賃プラスアルファの負担をお願いしていますが、すぐに完売するほど人気になり、嬉しい限りです。

知事：そうですね。

最後にお二人にお伺いします。地元の皆さんと一体となって地域を盛り上げてきた伊賀鉄道ですが、榎本さんは、今後どのような鉄道でありたいと思われませんか。池澤さんは、どういう鉄道であってほしいとお考えですか。

榎本：やはり通勤、通学あるいはレジャーで、安心してご乗車いただけることが基本ですが、乗ること自体が楽しくなる企画を考えていきたいと思います。例えば、遊園地の乗り物と捉えていただくといいのかもしれませんが。伊賀には忍者をはじめ、松尾芭蕉など、さまざまな観光資源があります。伊賀鉄道も、その中のアトラクションの一つとしてPRし、ご乗車いただけるようにしていきたいと考えています。そして、お客様に、ますます愛し続けていただければ、このうえない喜びです。

知事：ありがとうございます。池澤さんはいかがですか。

池澤：榎本常務が言われたように、電車は、安全・安心な輸送手段という位置づけは守りつつ、多くの人に来ていただけるように忍者列車を活用していきたいですね。また、今年2月22日に伊賀市は「忍者市宣言」をしましたが、伊賀の魅力も利用して伊賀鉄道を全国に知っていただく仕掛けを作りたいと考えています。



車内の木質化は、壁材の不燃処理や木製の吊り輪の耐久性を出すのに苦労したそうです。

その一つとして、忍者修行列車というものを企画しています。乗車中、いろいろ修行してもらえるような仕掛けを考えています。これからも地元だけではなく、全国の皆さんに愛される電車として、ずっと走り続けていただければ応援団としては本望ですね。

知事：伊賀鉄道をみんなで支えていることが、よく伝わってきました。今日はどうも、ありがとうございました。



電車内や駅のホームなどあちこちで忍者が現れます。



※インタビューの内容は、読みやすさの観点から一部要約等を行っています。

※記載内容、写真の無断転載を禁じます。

※内容に関するご意見・お問い合わせは、三重県戦略企画部広聴広報課まで

〒514-8570三重県津市広明町13

☎ 059・224・2788 FAX 059・224・2032

E-mail koho@pref.mie.jp